

住民と研究者が共に学びあふ場 楽しく学ぼう屋久島のこと

屋久島学

ソサエティ 2016 第4回大会

Society of Yakushimaology

11/26(土)27(日) 屋久島町総合センター(安房)

入場無料 但し、映画上映のみ有料です



26 10:00開会

ポスターセッション

26 10:10~11:30

最新の屋久島研究の成果をポスターにして発表します

10:10~10:30 フラッシュタイム
舞台上で短時間でそれぞれのポスター発表を
アピールします

10:30~11:30 コアタイム
各自のポスターの前で発表者が研究内容の
紹介と質疑応答をします

ポスターは27日閉会まで掲示。この機会に日頃の疑問や知りたいこと等を遠慮なく専門家に聞いてみよう!

テーマセッション 「ヤクスギのすべて(人文科学編)」

縄文杉50周年記念

コーディネーター; 古居智子

本年度は縄文杉が発見されて丁度50周年となります。(1966年5月28日発見・1967年1月1日新聞発表) この記念すべき年を迎えるにあたって、ヤクスギと島の人々の暮らしに焦点をあてたテーマセッションを企画しました。基調講演の後、登壇者によるパネルディスカッション形式を行います。会場からの質問や討論への参加も歓迎します。

26 13:00~15:00

<セッション1-①>

「ヤクスギの歴史 島の暮らし」

基調講演: 鎌田道隆

(奈良大学名誉教授・歴史学者 楠川在住)

パネラー: 小原比呂志 (YNAC)

寺田仁志 (鹿児島県立博物館)

屋久島におけるヤクスギは島の文化、経済、民俗、生活、信仰などおよそ島人の暮らし全般に関わる絶対的存在であり続けてきました。その歴史的系譜を追いかけ、屋久杉という極めて特異な木の存在が屋久島にもたらしたものを、信仰の対象→生活資源→観光資源という時間軸と時代背景の中で捉えなおしてみます。

27 9:30~11:30

<セッション1-②>

「屋久島の森と夢の150年—小杉谷」

基調講演: 王 智弘

(総合地球環境学研究所・環境社会学)

パネラー: 佐々彰聡 (小杉谷小中学校卒業生)

若松昭男 (山岳ガイド)

荒川登山口から縄文杉に至る道のりは、江戸時代から近代まで人が手を入れてきた歴史の上にあり、そこには、小杉谷を始めとして経済資源として山を活用してきた人の営みの記録が残る場所であるとともに、大量伐採によるヤクスギの墓場ともなった場所でもあります。今後の森の育成の線上で、屋久島の森と人がどう関わっていくかを問いかけます。

スライドショー 「写真で見るヤクスギの歴史」

○舞台の空時間にスクリーン投影

○2階踊場でモニター上映

〔大正~近年の森、小杉谷風景、伐採、搬出風景、里の風景など
写真提供: 森林保全センター・屋久杉自然館、ハーバード大学〕

テーマセッション2

「屋久島低地照葉樹林の多様性とその保全」

—新種発見が相次ぐ菌従属栄養植物が明らかにする世界—

27 12:30~15:30

コーディネーター：手塚賢至

屋久島では近年、新種植物の発見が相次いでいます。ヤクノヒナホシ、ヤクシマソウ、タブガワムヨウラン、タブガワヤツシロランなどの無葉蘭や腐生植物と言われてきた「菌従属栄養植物」が屋久島の原生的な低地照葉樹林の中で生育していることが明らかになってきています。活発な調査により新種の可能性がある未記載種も多く見つかっており、この分野の研究が大きく進展しています。こうした照葉樹林への新たな価値に注目が高まる半面、身近にありながら貴重な森林という認識が乏しいまま無残に失われている現状があります。

今回は新種発見に貢献、関与する写真家や研究者による素晴らしい写真による新種の植物たちや菌類の紹介、研究最前線から得られた数々の専門的な最新の知見の発表、そして屋久島の低地照葉樹林の豊かさを象徴する楠川流域で新たに始まった種の多様性を解明する植生調査の報告などにより、菌従属栄養植物への理解と併せて、屋久島の照葉樹林の貴重な価値を共通認識し、森林保全への道筋を皆さんと共に描きたいと願っています。

登壇者：山下大明(写真家 宮之浦在住)、末次健司(神戸大学)、辻田有紀(佐賀大学)、布施健吾(九州大学)

エクスカーション

専門家と歩く自然観察会

「自然に親しむ集い」と共催

28 7:00~13:00 「ヤクスギの歴史・小杉谷のくらし」

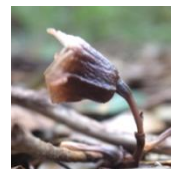
荒川登山口から小杉谷への道を歩きながら、森と人がどう関わってきたのか、

人々や風景を写真とマップにより多角的にとらえ、社会学の観点からその遷移をたどります。

○案内人：王智弘、佐々彰聡、他 ○参加費 100円(保険料)

○申し込みは 屋久島町環境政策課自然環境係 11月18日締切 TEL:0997-42-0100(内線285)

Mail: kankyo@yakushima-town.jp 申込の際には①お名前 ②年齢 ③住所 ④連絡先をお伝え下さい



タブガワヤツシロラン

映画上映

『セバスチャン・サルガド/地球へのラブレター』

ブラジルに生まれ、ユージン・スミス賞をはじめ、多くの賞を受賞する世界的な報道写真家であり、大自然の保全や復元に尽力する環境活動家としても知られている、今世紀最も偉大な写真家セバスチャン・サルガドが辿り着いた、地球最後の楽園〈ジェネシス〉一彼の写真はたった1枚で見る者の心を打ち、人生を変えてしまうほどの深い感動を呼び起こす「神の眼」を持つ写真家セバスチャン・サルガドの素顔に迫る感動のドキュメント

公式ホームページ <http://salgado-movie.com/>

○監督：ヴィム・ヴェンダース、ジュリアーノ・サルガド ○チケット 1000円(高校生以下無料)

26 15:30~17:30
屋久島町総合センターホール(安房)

27 19:00~21:00
屋久島環境文化村センターホール(宮之浦)

主催：屋久島学ソサエティ
共催：屋久島町/京都大学ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院/(公財)屋久島環境文化財団

映画チケットは当日会場受付で販売します。
屋久島学ソサエティ入会は会場でも随時受付ます。

同会場・同時開催
鹿児島
県立博物館
「博物館がやってきたin屋久島」
移動博物館の会期は
11月23日(水・祝)
~27日(日)



らくちゃん がくくん

~~~~~  
屋久島学ソサエティ事務局 手塚田津子  
TEL/FAX 0997-44-2965  
E-mail: [office@yakushimaology.org](mailto:office@yakushimaology.org)  
<http://yakushimagakusociety.hateblo.jp/>  
<http://yakushimaology.org>  
〒891-4203 鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊 2418-38  
~~~~~